

きらびやかな衣装で稚児行列



好天に恵まれた4月29日、船引町文珠地区の安倍文殊菩薩堂で稚児行列が行われました。地元の小学校を中心に1年生から6年生までの児童約40人と保護者が参加しました。

平安衣装を身にまとった子どもたちが、午後1時に清涼寺を出発。ほら貝が響く中、約25分かけて樹齢400年の杉林の参道を練り歩き、本堂でお参りをしました。

境内には、かわいらしい稚児の姿を見ようと大勢の見物客が詰めかけました。

満開の桜を巡るウォーキング大会

船引地区社会教育振興会(星達夫会長)主催の春のウォーキング大会が4月30日、桜の名所を巡る約8キロのコースで開催されました。天候にも恵まれ、114人が市文化センターをスタートしました。

参加者は、水道事業所の裏を歩いて満開の小沢の桜へ向かい、途中、滝根町商工会女性部「紅組」の太鼓の演奏に出迎えられました。宮のしだれ桜や地藏院の桜、籠山公園の桜などを眺め、普段は歩かない路地裏の道も通って、大滝根河畔の桜並木を歩き、春らんまんの一日を満喫しました。



元気に力いっぱい「こいのぼり掲揚式」



子どもたちの健やかな成長を願う「こいのぼり掲揚式」が4月21日、滝根保育所で行われました。式では、富塚市長が「皆さんはこの保育所で、こいのぼりのように元気に大きく育ってください。」とあいさつし、園児代表の志賀巧ちゃんにお菓子の袋をプレゼントしました。

こいのぼりの掲揚では、保育所の園児45人が童謡「こいのぼり」を合唱しながら、約50センチのこいのぼり60匹が付いたロープを引き上げました。

みごとな踊りで魅了「ふねひき春のうたまつり」



船引民謡民舞の会連絡協議会(本田絹子会長)の設立40周年記念「ふねひき春のうたまつり」が4月29日、市文化センターで開催されました。

市内の民謡・舞踊・スポーツ民謡の24団体、約300人の会員が出演し、58の演目を披露しました。会場いっぱいに詰めかけた観客は、あでやかな踊りや民謡などに魅了され、盛んな拍手を送っていました。

スポーツでさわやかな汗

田村市スポーツ少年団の結団式が4月30日、市総合体育館で行われました。10競技、31団体の団員や指導者、保護者約500人が参加。野口本部長が「スポーツを継続することは大切です。楽しんで活動してください。」とあいさつし、団旗の授与を行いました。

式終了後、運動能力適性テストを行い、上級合格を目指してさわやかな汗を流しました。



早食い挑戦に熱い声援



あぶくま洞春まつりが、4月29日から5月5日まで開かれ、県内外からの大勢の観光客でにぎわいました。

5月5日には、早食い大会が子どもの部と大人の部で行われ、それぞれ8人が参加しました。熱々のフルーツや餃子ドックに苦戦し、水を飲みながら頑張る挑戦者の姿に、見物客から熱い声援が送られました。